

令和5年度

第4回 小金井市立本町小学校 学校運営協議会記録

令和6年1月18日(木)

10時~12時 校長室

○出席 14名中13名出席

委員の過半数の出席により本会成立

○傍聴 0名

<1>会長挨拶

- ・震災や訃報について
- ・議題がたくさんありますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

<2>学校長挨拶

- ・地震や訃報について
- ・新学期良いスタートがきている。

<3>学校自己評価まとめ・地域学校協働活動について

【校長より】

- ・あいさつについて、児童も保護者も肯定的な意識が高まっている。
- ・楽しく通えている児童が15ポイント増えている。
- ・主体的な授業を展開し、国語を中心に校内研究の成果も出ている。
- ・ICTは授業で活用できている。自分たちで使い方を考えていく必要がある。
- ・ゲストティーチャーによる授業が児童にとって楽しいと感じる結果も出ている。
- ・地域との連携では本町ゆめ広場が好評であった。
- ・1月学校公開で、4時間目の懇談会で熟議の機会を設けた。
- ・児童の体育は好きだが、教師側の意識を変え、ポイント絞って指導していく。
- ・環境教育は児童、教職員の意識が高まっているが、分からないと回答する方々へアプローチしていく必要がある。
- ・特別支援に関しては、新しい支援室の制度も始まり、皆で連携しながら取り組んでいる結果が出た。

【◆委員の皆様より→学校側からの回答】

◆いじめに関して「相談できる人がいない」と回答した児童は誰なのか把握しているのか？

→誰かは把握している。その本人が相談したいと思っているかまでは把握していない。

◆わんわんパトロールのときは、挨拶をしてくれたが、そうでないと、なかなか挨拶できない状況もあるので、地域側からも積極的に挨拶を深めていきたい。朝会での紹介の復活もお願いしたい。

→わんわんパトロール集会やSC集会、あいさつ集会など開催していく。わんわんパトロールのメンバーのカラー写真で児童に紹介しているので、委員の皆様も紹介できる。

◆環境美化から発信→行っていく

◆持久走週間に保護者も参加できたらよい。

◆挨拶については、何か校内で指針があるのか？

→地域の方に挨拶をと声をかけている。校内は良いが、外ではなかなか難しい。

◆本町ゆめ広場がとても良かった。児童の主体的な姿が見られた。来年度はないので、地域側のモチベーションを展覧会でもあげていけるとよい。

→総合として毎年学習はしているので、学年ごとに発表交流することはできる。

◆子供会主催のミステリートレインでは希望者が多く充実した機会により、場を作ることで主体的な活動につながるともよい機会だった。子供会だけでなく、子供会を超えて募集したのが大盛況でよかったが、スタッフの人数が不足しがちになる課題がある。PTAの中から、子供会の広報に携わるなども案としてある。

→不登校の児童にとっても固定された人間関係ではなく参加できる機会になる。

◆大分の高校と問題解決の話し合いをしている。高校生の声として、大人が生活習慣病になりやすい。運動は続かない。社会的アプローチでなく、家庭的アプローチが必要なのではないかと考えた。子供が親に運動してと伝え、運動ができたことで子供がお手伝いをする、と「子供に促させる」という視点で 社会が動くのではないか。

→子供会も中高生のジュニアリーダーがいると更に発展していくのではないか。例えば近隣の中大付属、小金井北、学芸大付属など。地域貢献の視点で、主体的に巻き込めたらよい。

◆中高生は多忙でやりたくてもやれない状況がある。

→在籍する学校に伝えることで主体的になったり、部活動の日数も現在減っている状況である。

◆市の消防団に大学生がいる例もある。小さい頃から地域に向く目が育っているとよい。給料も発生するが、やりがいがある。交流を深める食事会にも参加して大人から学ぶこともある。地域で応援が必要。

→地域連携で5年生の防災と消防団についての視点も絡めていく。CSの効果として、「防災」の視点も共有。

◆地方も生徒に何が1番ほしい？と聞いた結果、ラウンドワンが欲しいとの回答があった理由は、気軽にスポーツができるから。その視点で地域活動が広がるとよい。

◆地域がつながり様々な行事を行えないか。

例えば、小中学生に、月1回校庭開放で部活動を欠席してボランティア扱いにするなど。ボランティアしたことで価値付けをして学びにしていくなど。居場所の1つにもなる。例えば「ジュニアリーダー認定証」「ボランティアカード」ブロンズ、シルバー、ゴールドなど意欲付け中学校とも連携したい。

◆児童館でボランティアをする中高生は居場所を求めている児童が多い。

◆きちんと行動の良さを認めてあげることが大切。

◆地域未来塾では、希望者が継続して意欲的に参加してくれているのが、主体的な機会になっている。内容がより専門的に解決をしていく。例えば、柑橘系が苦手な児童がどうしたら美味しく食べられるようになるのか考えパフェの試作を始めている。学芸大学の中に辻調理専門学校の講座が開講されるので、オンラインでアドバイスいただくなど考えが広がっている。3月にまとめの発表会ができるとうよいと考えている。

◆HP閲覧数をアップするには、スクールメールにホームページのリンクを貼ってして給食メニューを一緒にあげるとよい。特に本町小が伝えたいことは、スクールメールと合わせてリンクを貼り付けるとよい。

◆児童が記録や動画をHPにあげられないのか？委員会からアピール動画ができないか？

例えばショート動画をあげるなど。

→広報委員会や、やりたい委員会などでできる。全校朝会でも流すことができる。

◆PTAは来年度もスリム化を進めていく。運動としてはリサイクル寄付の観点で現在は防災頭巾を考えている。来年度、夏祭りもブースごと開催予定。3学期学校公開日小規模の企画を検討中。

→1月27日熟議の場について更にアピールしていく。

◆3月9日10日に、PTA卒業イベント6年生体育館にてお泊り会、夜は肝試し、ご飯作り、防災も兼ねて企画。

<8>その他

・予算の使い道について

※次回第5回学校連絡協議会2月15日（木）10時～12時